團體交渉權は考慮さして呉れ

絶對に犧牲者を出さぬ譯には行かぬとの答へ

友愛會との再會見に之が國粹會の仲裁條件

國粹會大阪支部幹部と友愛會大阪支部幹部との再會見は十三日午後三時から中之島中央公會堂第六號室で開かれた、西尾友愛會主事は四箇條の要求條件を說明し、第二の期末賞與第三の退職手當云々に關する

二件は 或は容れ得るだらうと思ひすが第一の團體交渉權云々に就きては如何に御考へですかと質問し國粹會樋口氏は考慮の餘地を與へて貰ひたいと答へ、西尾氏は其の御答辯ならば會社の回答も同樣ですから容れる事は出來ませぬと斷り第四の

犧牲を 出さざる事と云ふ一項に對し國粹會側では這般來復職々工の一部の者が過激な文章を書いた印刷物を工場内で撒布した實例を擧げ一人も犧牲者を出さない如な事になつたならば如何なる危險の伴はないとも限らない事、現在の會社が多少の犧牲者を出さなくては發電費を削限し得ない狀態に陷つて居る事の二項を示し自分達としては絶對に犧牲者を出さないで結末を著ける事は出來ないと言明し、古來文化の推移の裏面には犧牲者を出して居る例が多い、強い者豪い者が自ら犧牲者となり、弱い者を助けるのが大和魂の精髓である、自分達國粹會員の思想である

この意味を述べ多少とも出された犧牲者に對する應急策に就ては國粹會として會社に向つて

交渉する 考へである

と述べ、友愛會側は一應組合員の全部に諮つた後回答すると言葉を殘して本部に引揚げた

解職々工の給料

手當は十四日から十六日迄に支拂ふ

會社側の主張は讓らぬ

……と宮崎大電社長語る

一方大電問題の爭議は全く持久戰の形となり罷業職工側は益々團體の結束を固めんと十三日も引き續き軟派職工の家庭を訪問して復職せぬ樣勸誘すると共に夜に入つては西區法泉寺を始め處々に會合して

善後策 の協議をして居る、又會社側並に友愛會は夕刊既記の通り警察部を中間に夫夫交渉を重ねて居るが、到底双方の妥協點は見出せない形勢である、右に就き宮崎大電社長は語る

會社としては、何處までも現在の主張を通す心算である解雇職工に對する給料並に手當は十四日から十六日頃迄に全部支拂ふ手順に定めた

友愛會の賀川氏とは今日會見して御互に意見の交換をする筈であつたが先方に差支へが出來たさうだから何れ明(日十四日)會見する筈で其結果幾分なりとも妥協點が見出せるかも知れない

不穩職工の警戒依賴

若林技師長等の加賀美課長訪問

尚ほ會社では何分罷工職工が家庭を訪問して復職せぬ樣勸誘して廻るので會社としては復歸職工全部を會社に留めて居るが何時迄も續ける譯に行かぬので十三日午後十一時萩原庶務課長、若林技師等は府廳に加賀美特高課長を訪ねて其善後策を依賴する處があつた

長旗を飜して全市に示威行列

各所で辻演說始まる

各勞働團からの激勵と寄附

大電罷業職工は十四日は早朝から十人宛十數團に別れ大電を呪ひ罷業職工の決心を促す字句を連ねた數旒の長旗を飜して全市に亙り示威行列を行ひ聲を嗄らして辻演說を始めた一方西尾友愛會主事、早川、東の三名は某所に會合祕密會議を行うて愈最後の方針を定め終つて尚賀川豐彦氏は更に五十圓を、向上會は七十二圓を、大電製作所義友會は金一封を續々罷工團へ寄附し足尾銅山を始め各方面から激勵電報等も舞込んで居る、右祕密會議並に西尾氏の裁判所出頭に關し幹部は曰く

警察部長の仲裁も失敗に終り愈々最後の五分間が迫つて來た、最早や我々は演說を主として持久戰を張るか乃至は直接行動に出るかの二途あるのみ、其の孰れを執るかは明言の限りでない、西尾氏は單に佐藤氏の告訴に對し取調を受けたのみで治安警察法などには斷じて亙つて居ない云々と

明日も示威續行

尚ほ十五日は大電全罷業團、關西勞働組合聯合會、友愛會の各會員等全部二千名をもつて大示威行列を行ひ十三堤に落着き運動會に施せて演說會を開く筈で當日は市内各工場は大部分定休日だから多數の職工の集合を見る可く警察部に於ては取締方協議中だと

罷工員を復歸させたい

大電問題で再び蹶起したと云ふ

問題の人佐藤氏の壯語

今回の大電勞働爭議の火蓋を眞先に切つて落し、兎角の噂に包まれて居た第一回電業組合實行委員代表者佐藤安太郎氏は十四日午前十時大阪府特別高等課に出頭し加々美同課長と約三十分間會見の後引揚げたが訪問の理由に就いて左の如き意味の言葉を漏らした

自分は第一回の實行委員として大電に交渉を開始したもので自分の資格は即ち電業組合代議員會で選出された立派な代表者であつた、さればこそ大電は我々の要求十四箇條に對し愼重審議の結果一二を除く外大半許容されたのである、然るにこれが一般報告に際しその主旨を徹底せしめず提出條件全部認容せられた如き杜撰な發表をしたため再び大電をして今日の紛擾狀態と爲さしめたので自分はこれ等の經過を見る毎に實に遺憾に堪へない、目下罷工團は友愛會の援助に依つて罷工を繼續して居るものゝその實體を觀るに友愛會の今日の遣り振りは現在の罷工員の生活狀態並びに窮狀を何等顧みてない、自分は第一回即ち

株式會社 平山化粧品部